

## 平成21年度 証券化商品等への投資およびサブプライム関連投資の状況

明治安田生命保険相互会社(執行役社長 松尾 憲治)は、金融安定化フォーラム(FSF)の報告を踏まえ、平成21年度決算における証券化商品等への投資およびサブプライム関連投資の状況について、以下のとおり報告します。

なお、表中の項目については以下のように定義しています。

- ・含み損益は、時価から帳簿価額を差し引いたものです。
- ・実現損益は、売却損益、償還損益および減損額の合計です(利息及び配当金等収入は含めていません)。

### 1. 投資状況

#### (1) 特別目的事業体(SPEs)一般

平成21年度末における保有および平成21年度における実現損益はありません。

#### (2) 債務担保証券(CDO)

平成21年度末における保有および平成21年度における実現損益はありません。

#### (3) その他のサブプライム・Alt-Aエクスポージャー

平成21年度末における保有および平成21年度における実現損益はありません。

#### (4) 商業用不動産担保証券(CMBS)

(単位:億円)

	平成21年度末時価		含み損益		平成21年度 実現損益
		平成20年度末差		平成20年度末差	
商業用不動産担保証券(CMBS)(注)	71	△4	0	0	—
日本	71	△4	0	0	—

(注) 裏付けとなる不動産の用途別内訳は、オフィス用不動産50.7%、商業用施設28.2%、物流施設21.1%(いずれも帳簿価額ベース)です。

#### (5) レバレッジド・ファイナンス

平成21年度末における保有および平成21年度における実現損益はありません。

#### (6) その他の証券化商品等

(単位:億円)

	平成21年度末時価		含み損益		平成21年度 実現損益
		平成20年度末差		平成20年度末差	
①RMBS	5,935	△2,574	40	△3	△4
日本	4,854	1,010	60	74	—
米国	1,080	△3,584	△20	△78	△4
②ヘッジファンド	410	△236	△92	135	△117
③クレジットリンク債・ローン	491	△198	11	17	5
④その他(その他の仕組債等を含む)	1,145	△122	△28	19	—

### 2. 証券化商品等全体の内訳

平成21年度における、サブプライムローン関連商品での損失はありません。また、平成21年度末におけるサブプライムローン関連商品への直接投資はありません。

証券化商品等全体への投資状況は以下のとおりです。

(単位:億円)

	平成21年度末時価		含み損益		平成21年度 実現損益
		平成20年度末差		平成20年度末差	
証券化商品等全体	8,053	△3,135	△69	169	△116
CMBS	71	△4	0	0	—
RMBS	5,935	△2,574	40	△3	△4
ヘッジファンド	410	△236	△92	135	△117
クレジットリンク債・ローン	491	△198	11	17	5
その他(その他の仕組債等を含む)	1,145	△122	△28	19	—

### 3. その他

平成21年度末における、明治安田生命単体および連結子会社でのサブプライムローン関連商品への直接投資はありません。

#### 【用語について】

CMBS	商業用不動産担保ローンを裏付資産とする資産担保証券
RMBS	住宅ローンを裏付資産とする資産担保証券
クレジットリンク債	債券に別の信用リスクを結びつけた証券
クレジットリンクローン	ローンに別の信用リスクを結びつけた証券化商品

以上